

練馬区この1年

令和6年4月～令和7年3月



長野県上田市（旧武石村）との友好都市提携 30 周年親子バスツアー
武石地域森林にて間伐体験

6年4月

1日 住民税等の未納対策強化と生活再建の支援に向け、未納対策を支援するAIの運用を開始

経験豊富な職員のノウハウが必要な住民税と国民健康保険料の未納対策業務を、富士通Japan（株）と共同でAIに反映させたシステムを開発し、運用を開始した。

1日 2か月児相談を開始

産後うつ病は、産後3か月以内の発症が多いことから、生後2～3か月頃の乳児の保護者を対象に、保健師・助産師・管理栄養士が育児に関する情報提供を行うとともに、保護者同士で悩みや経験を語り合うグループ相談や個別相談を開始した。

1日 区役所に実質再エネ100%の電力を導入

区内最大事業者として、CO₂の削減に率先して取り組むため、区役所練馬庁舎の電力を実質再エネ100%電力に切り替えた。これにより、年間約0.25万tのCO₂排出量の削減を見込む。

1日 学校教育支援センター石神井台を開設

区西部地域のニーズに対応するため、区立施設の跡施設を改修し、石神井台6丁目に学校教育支援センター石神井台を開設した。一人ひとりの状態に応じた不登校児童・生徒の支援を実施していく。

1日 区立保育園30園で食事用エプロンの定額利用サービス「エプロンのサブスク」を実施

希望者が毎月一定額を負担することで、園内で使う食事用エプロンを枚数制限なく利用できる「エプロンのサブスク」を区立直営保育園30園で開始した。

11日 子どもの相談窓口を紹介するデジタルリーフレットを公開

悩みや心配事などについて、話を聞いてくれる場所や居場所があることを子どもたちに分かりやすく知ってもらうため、区内にある日本大学芸術学部の学生に協力してもらい、マンガ形式のデジタルリーフレット「ひとりじゃないよ～話して、あなたのところ～」を制作し、区ホームページで公開した。



リーフレット表紙

19日 ねりま子育て応援アプリの運用を開始

子育て支援サービスの「知る・探す・申し込む」が、スマートフォン等からいつでも、どこでも、簡単にできるアプリの運用を開始した。

希望する地域や興味・関心がある事項を登録すると該当する情報がプッシュ通知で配信されたり（知る）、目的やキーワードで情報を検索したり（探す）、空き情報を確認しながらイベント・講座の予約ができる（申し込む）等の機能がある。



アプリトップ画面

5月

- 1日 練馬文化センターがリニューアルオープン
4年10月から休館し、ホール天井の耐震化改修、客席や照明・音響設備の更新等の大規模改修工事を終え、リニューアルオープンした。



大ホールの客席

- 1日 がん患者向けウィッグ等購入費用助成事業を開始

がん患者の心理的、経済的負担を軽減するとともに、療養生活の質の向上を図り、就労等の社会生活を応援するため、がん治療に伴う脱毛・乳房の切除により補整具が必要な人を対象に、ウィッグ、胸部補整具等の購入費用の助成を開始した。

- 21日 「ねりコレ2024」発表

「ねりコレ」は2年ごとに更新しており、お土産（食品に限る）と飲食店メニューの2部門で練馬のオススメ商品を認定している。区民等からの投票や外部専門家等による審査を経た計97品を認定した。

6月

- 1日 区立施設等をクーリングスポット（涼みどころ）として開放

熱中症対策強化のため、区立施設88か所のほか、(一社)練馬区薬剤師会の協力を得て、区内薬局66か所をクーリングスポット（涼みどころ）として開放した。7月1日からは、(株)セブン・イレブン・ジャパン、(株)ファミリーマートの協力を得て、コンビニエンスストア107か所を新たに開放した。さらに、8月1日から区立施設の開放数を増やし、合わせて263か所のクーリングスポットを開放した。

区ホームページやSNS等で周知を図るとともに、各施設では入口等にクーリングスポットの目印となるタペストリー等を掲示した。



クーリングスポットタペストリー

- 1日 都が練馬児童相談所を開設

都は、東京都練馬児童相談所を区子ども家庭支援センターと同一施設内に設置した。設置後は、都区合同の検討会議や虐待通告に基づく家庭訪問などが随時可能となり、一時保護や児童養護施設入所などの法的対応も迅速に行われるようになった。

- 7日 第76代区議会議長に福沢剛氏、第78代副議長に西野こういち氏が就任

新議長に福沢剛氏（自民党）、新副議長に西野こういち氏（公明党）が選出された。

7月

1日 「ねりま協働ラボ」 始動

区と、区内で活動する地域活動団体等による協働の力で、地域課題の解決を目指す「ねりま協働ラボ」を7年度から開始するにあたり、練馬を良くするアイデアを8月30日までの期間、募集した。

1日 認知症なんでも相談窓口を開設

認知症の人が抱える不安や、介護者の関わり方など、認知症の経過に伴って生じる生活上の困りごとについて相談できる「認知症なんでも相談窓口」を開設した。認知症高齢者グループホームと小規模多機能型居宅介護の事業所の区内2か所で、認知症ケアの専門職がアットホームな雰囲気の中で相談に応じる。

1日 高齢者聞こえのコミュニケーション支援事業を開始

加齢性難聴高齢者のコミュニケーションの機会確保を推進し、介護予防につなげるため、聞こえのコミュニケーション支援事業を開始した。

これまで実施していた補聴器購入費用助成事業の対象者等を拡大するとともに、加齢性難聴についての正しい知識を普及するための講演会やチラシ配布等を行った。

21日 平成つつじ公園で「つつじパークカフェ」を開催

7年度から始まるリニューアル工事に向け、公園で夕涼みしながら「公園でこんなことできたらいいな！」を考えるつつじパークカフェを初めて開催した。小・中学生から募集したトイレのデザイン・アイデアの優秀賞の紹介や、マルシェ、クイズラリーなどを行った。



「公園でこんなことできたらいいな！」を募集

9月

5日 パリ2024オリンピックメダリストに練馬区民栄誉賞を顕彰

パリ2024オリンピックにおいて、フェンシングの男子フルーレ団体で金メダルを獲得した永野雄大選手、敷根崇裕選手、男子エペ団体で銀メダルを獲得した見延和靖選手に対し、練馬区民栄誉賞を顕彰した。3選手は区内にあるフェンシングクラブに所属している。

練馬区民栄誉賞の顕彰は今回が初めてで、区役所で顕彰式が行われた。



区役所アトリウムでの出迎えの様子

10月

1日 生活保護制度のAIチャットボットを開始

保育園、引越し、おくやみ、母子保健などの問合せに既に導入している、AIが対話形式で応答するチャットボットシステムにおいて、新たに生活保護や障害福祉の制度やサービスに関するメニューを加え、相談に対応できるようにした。

6日 長野県上田市アンテナショップが移転

区の友好都市である長野県上田市のアンテナショップ「信州上田物産館 UEDA Nerima BASE (ウエダ・ネリマ・ベース)」が石神井町7丁目から西武池袋線江古田駅南口に移転し、交流の拠点としてリニューアルオープンした。

15日 イプスウィッチ市との友好都市提携30周年を迎える

オーストラリア・イプスウィッチ市との友好都市提携に合意して30周年を迎えた。30周年を記念して、9月にはミニコンサートやオーストラリアの物産販売、パネル・写真展などを区役所アトリウムで開催した。

また、1月30・31日の2日間にわたりオーストラリア・イプスウィッチ市のテレサ・ハーディング市長が来訪し、区内各所を視察した。



来訪時の様子

25日 「児童・生徒への性暴力等を防止するための対策方針」を策定

教職員による児童生徒への性暴力等の防止を徹底するため、5年12月に設置した「練馬区児童生徒への性暴力等防止特別対策委員会」からの提言内容を踏まえ、対策方針を策定した。

28日 パリ2024パラリンピックメダリストに練馬区民栄誉賞を顕彰

パリ2024パラリンピックで金メダルを獲得した区内在住の2選手に対し、練馬区民栄誉賞を顕彰した。水泳男子50m自由形・100mバタフライで金メダルを獲得した木村敬一選手、ゴールボール男子で金メダルを獲得した宮食行次選手が受賞し、区役所で顕彰式が行われた。



区役所アトリウムでの出迎えの様子

28日 プラスチック製衣装ケースのリサイクルを開始

脱炭素社会の実現とごみの減量のため、粗大ごみとして排出されたプラスチック製衣装ケースのリサイクルを開始した。

衣装ケースは、単一素材であるため、他のプラスチック製品に作りかえる「マテリアルリサイクル」を行うための優良な原材料となり、年間60,000kgの資源化を見込んでいる。

11月

10日 長野県上田市との友好都市提携30周年を迎える

長野県・旧武石村（現上田市）との友好都市提携に合意して30周年を迎えた。30周年を記念して、4月には「友好都市・上田市写真展」を区役所で開催し、8月には上田市武石地域の森林を楽しむ1泊2日の親子バスツアーを開催した。

16日 「全国都市農業フェスティバル2025」プレイベントを開催

7年度に開催する「全国都市農業フェスティバル2025」に向け、16・17日の2日間にわたり都立光が丘公園でプレイベントを開催した。

全国から9自治体（松戸市、八王子市、国分寺市、横浜市、浜松市、名古屋市、京都市、神戸市、広島市）が参加し、練馬大根や参加自治体による農産物等の販売、各自治体の都市農業のPR等を行った。



イベントの様子

7年1月

6日 南大泉・東大泉地域でデマンドタクシーの実証運行開始

持続可能な交通を構築していくため、南大泉・東大泉地域でデマンドタクシー（※）の実証運行を3月31日まで行った。

※デマンドタクシー：

新しい公共交通の一つで、あらかじめ定められた乗降ポイント間で乗客の予約に応じ、乗り合って移動することができる



実証運行の様子

14日 ねりま電子図書館がオープン

図書館に行かなくても、スマホ等から、いつでもどこでも読書が楽しめる電子図書館サービスの運用を開始した。文字や写真の拡大、一部の書籍は、白黒反転や背景色の変更ができるほか、音声読み上げができるものもあり、読書バリアフリーにも対応している。

また、図書館の利用登録や変更・更新などの手続、講演会などの申込み、未所蔵資料の予約申請などオンラインサービスが充実した。



ねりま電子図書館
トップ画面

21日 十文字学園女子大学と「包括的な連携・協力に関する協定」を締結

福祉・保育等の分野における人材育成・確保に向けて、十文字学園女子大学と、連携・協力に関する包括的な協定を締結した。

協定に基づき、区と大学が一体となって、地域福祉の課題解決に向けて取り組む。

2月

6日 区内事業者と求職者とのマッチングの場として合同企業説明会を開催

区民・産業プラザのココネリホールで、区内事業者と求職者とのマッチングの場として「合同企業説明会」を初めて開催し、22事業者が参加した。人材確保に課題を抱える区内事業者の支援を目的として、専用ホームページでは出展事業者のPR動画を公開するとともに、会場内にはキャリアコンサルタントの相談ブースを設置した。

3月

27日 「美術のまち構想」を策定

西武池袋線中村橋駅周辺を「だれもがアートを感じられるまち」にするため、目指すべきまちの将来像と主な取組を示す「美術のまち構想」を策定した。

27日 「災害時フレイル・血栓予防講習会」を実施

東京都理学療法士協会と締結した「災害時における避難行動要支援者等の支援協力に関する協定」に基づき、災害時フレイル・血栓による災害関連死を予防する知識を得てもらうため、講義と簡単な体操を織り交ぜた講習会を実施した。



講習会の様子

28日 「練馬区災害廃棄物処理計画」を策定

災害時には、被災家屋の片付けにより生じる廃棄物や損壊家屋等の解体・撤去により発生する廃棄物に加え、避難所や家庭から排出される生活ごみ等を同時に処理する必要がある。これらの災害時に発生する廃棄物を適正かつ円滑・迅速に処理するため、「練馬区災害廃棄物処理計画」を策定した。